

エコロベースパレット施工要領書

平成 年 月

ビルマテル株式会社

1. 使用部材

① 耐根層(エコムガード)

※下地処理材(アスファルトプライマーやリベースを防水仕上げに合わせて選択)

② エコロベースパレット

写真① エコロベースパレット(500×500)

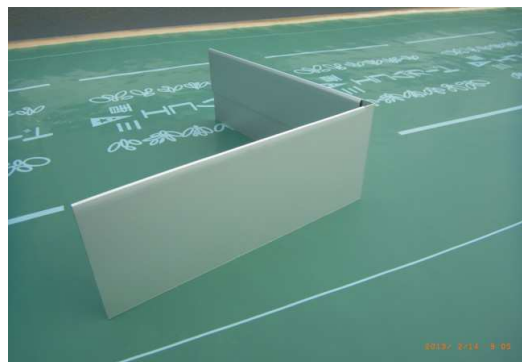


③ 見切り材(アルミ製専用見切り材)

写真② アルミ製見切り材(直線部材)



写真③ アルミ製見切り材(出隅用)



写真④ アルミ製見切り材(入隅用)



④ 灌水システム

設計(計画)に灌水システムが含まれている場合は施工計画図等に準じて施工します。
⇒灌水システムが無い場合は植栽の枯れ保証(1年保証)は致しかねます。

⑤ 人工軽量土壌

植栽の種類によって土厚の設定が異なります。
施工環境に適した荷姿(フレコンまたは小袋)にて搬入します。

⑥ 植栽

設計(計画)にて指定された植栽を植えます。

⑦ マルチング材(火山砂利)

植物の植え込み終了後に敷き均します。

2. 施工手順

1. 施工箇所の清掃



- ・耐根層を施工するにあたり、下地処理材を塗布するため可能な限りゴミを無くした状態で作業に取り掛かるようにします。

2. 墨出し



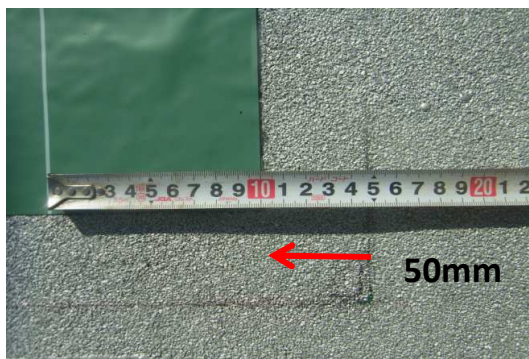
- ・耐根層の下地処理材を塗布するために墨出しを行う。
- ・下地処理材がはみ出ると見栄えが悪くなるため施工計画図との相違が無いことを確認する。

3. 下地処理材(プライマー)の塗布



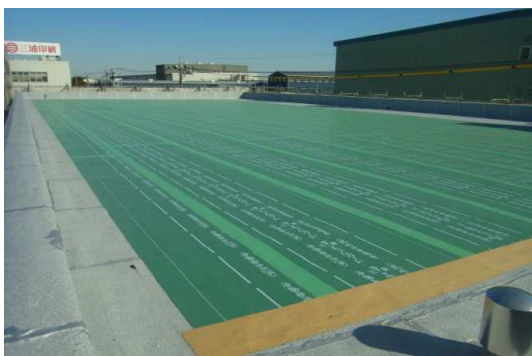
- ・墨出したエコロベースパレット設置のラインより50mm内側に塗布する。

4. 耐根層(エコムガード)の敷設①

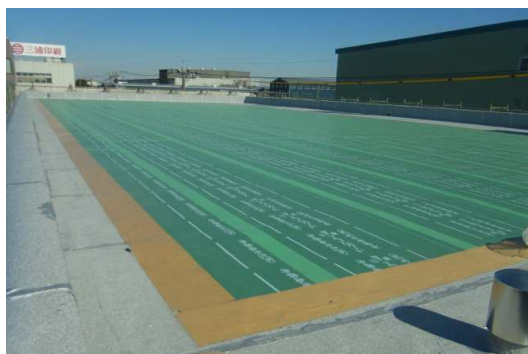


- ・下地処理材が十分に乾いたのを確認した後に敷設する。
- ・下地処理材と同様に墨出したエコロベースパレット設置のラインより50mm内側に敷設する。

5. 耐根層(エコムガード)の敷設②



6. エコムテープ(両面テープ)を敷設



- ・墨出したエコロベースパレット設置のラインより10mm内側に貼る。

7. エコロベースパレットの荷揚げ

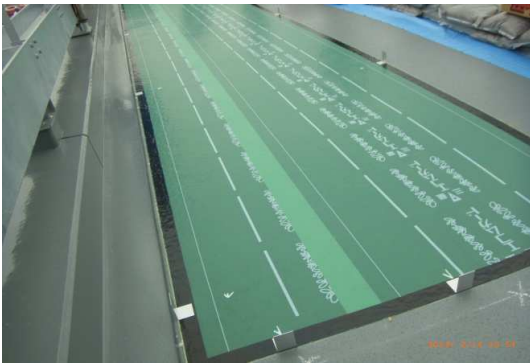


- ・揚重時の破損防止のため布モッコを使用して荷揚げする。
- ※施工箇所に仮置きするスペースがある場合には耐根層などを同時に荷揚げしても良い。

8. エコベースパレットの荷揚げ完了

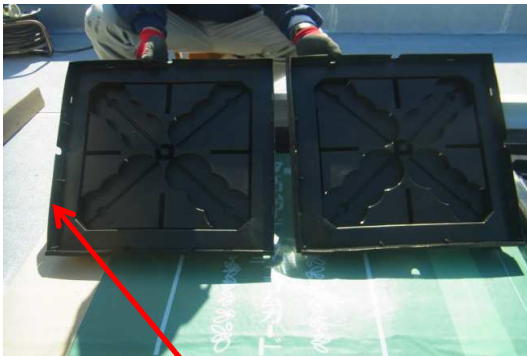


9. エコベースパレットの設置準備



- ・見切り材の設置箇所にエコムテープ(両面テープの剥離紙を剥がして貼る。
- ・見切り材のジョイント金具を寸法に合わせて貼る。

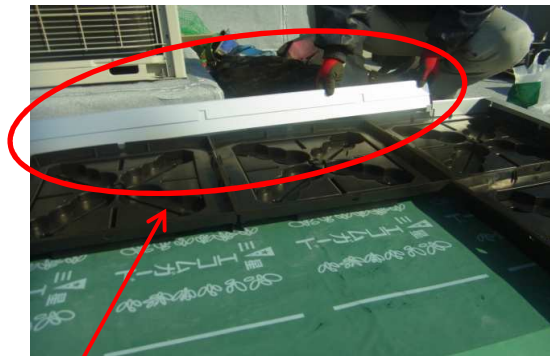
10. エコベースパレットの設置



ジョイント材を剥がす

- ・パレットの側面には土壌がこぼれないようジョイント材が貼り付けてある。
- ・パレットが見切り材と接する箇所についてはこのジョイント材を剥がす。

11. エコロベースパレットを設置しつつ、固定金具と見切り材も設置していく

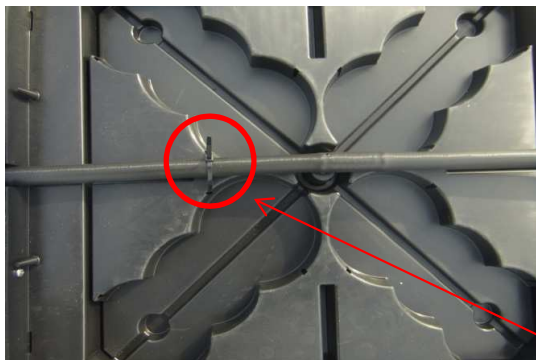


固定金具
固定金具は接着剤にて固定



見切り材
見切り材はエコロベースパレットの縁に上から差し込むようにして設置

12. 灌水システム(ドリップチューブ)を敷設



※エコロベースパレット(500mm×500mm)に対し
ドリップチューブの点滴孔も500mm間隔のため
点滴孔が中央に来るよう敷設する。

⇒微妙なズレの積み重ねにより点滴孔の位置が
端部に寄ってしまう場合は適度な箇所
で切断して調整し、継手を使用して
接続する

排水用のスリットに結束バンドで固定

13. 灌水システム(ドリップチューブ)の敷設完了



・灌水システムの制御装置や電磁弁なども計画に
基づき施工する

14. 人工軽量土壌の敷き均し



- ・計画された土厚にて敷き均す

15. 植物の植え込み



- ・植物を植えるための溝(深くなっている箇所)に定められた植物(数量)を植える

16. マルチング材の敷き均し(完成)

